



ライフストーリーワーク 実践編講座

パートⅠ 施設事例のケース

“事例を通してより実践に活かせるライフストーリーワークを身につける”



2026年 9月 3日(木)

9時半～16時半(9時15分受付開始)



講師:才村 眞理(元帝塚山大学教授) :大阪府児童相談所(児童福祉司)、知的障害児入所施設、帝塚山大学心理福祉学部(教授)の勤務経験。ライフストーリーワーク相談室代表。ドナーリンク・ジャパン社員。社会福祉士。

:徳永 祥子(セラピューティックライフストーリーワーク・ジャパン代表) :大阪市阿武山学園、国立武蔵野学院にて児童自立支援専門員として勤務後、日本財団研究員、ウェスタンシドニー大学リサーチフェローを経て現職、福祉社会学博士。

場所: ZOOMでのオンライン開催(URLは申し込みいただいた方にご連絡します)

定員: 30名 ※定員達し次第応募締切
(開催可能人数に満たない場合には開催されないことがあります)

参加費: 18,000円

対象: 無憂樹のライフストーリーワーク講座基礎編を受講された方、又はライフストーリーワークを既に学んでいる方、実践されている方。

※基礎編を未受講の方は基礎編を先に受講することをお勧めいたします。

(ライフストーリーワーク基礎講座の受講をご検討の方は、 <https://muyouju.com/> にて最新の講座情報をご確認ください。)

応募方法

下記 URL、もしくは右のQRコードよりお申し込みください

<https://bit.ly/LSW903muyu>



無憂樹

【お問い合わせ】 メールにて受付 Mail: info@muyuju.org

“より実践に活かせるライフストーリーワークを 模擬事例を通じて身につけませんか？”

基礎編では事例をみんなで考えながらライフストーリーワーク(LSW)の知識や理念、大切にしていることを学んでいただきました。

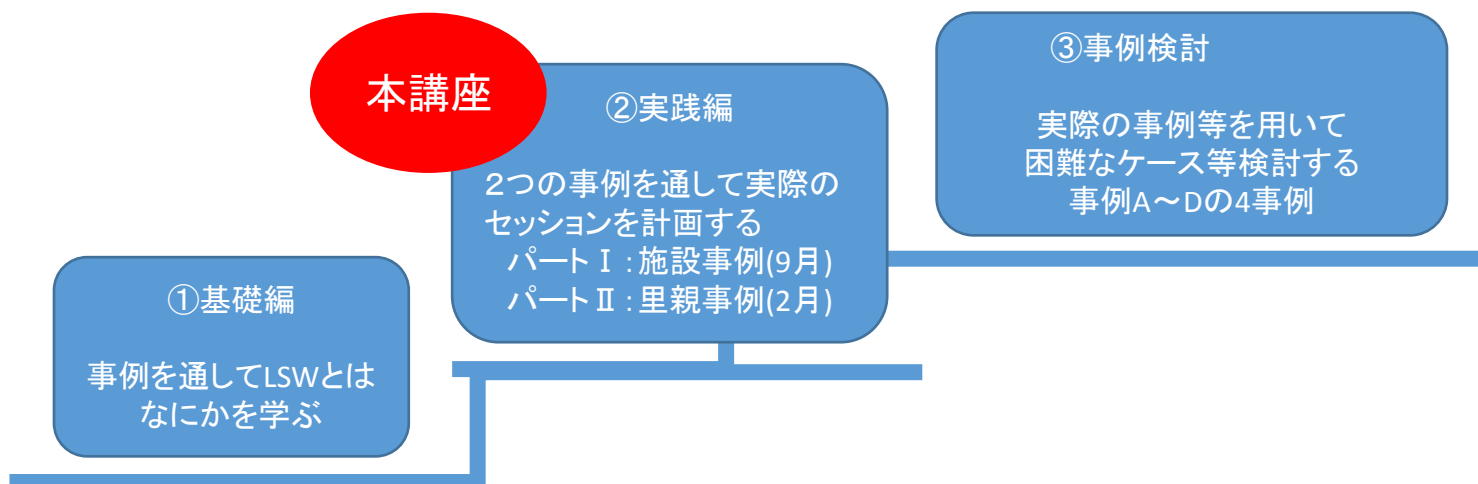
本講座の実践編では、実際にどのようにセッションを進めるのか、どうやって子どもと話し合うのかを、具体的にイメージできることを目的とし、模擬事例を通して、どうセッションを組み立てるのか、そして日常生活との連携をどう進めていくのかも合わせて学んでいただきます。

実際にセッションを計画していただき、さらにどういう実施体制を整えるのか、協働していくのかも検討し、実践に活かせるライフストーリーワークの学びを深めていただきます。

また実践編は、「パートⅠ 施設事例」と「パートⅡ 里親事例」の2つの研修があります。パートⅠ、パートⅡの両講座の受講を終了された方に**実践編受講修了書**をお渡しいたします。

ライフストーリーワークの学び方

ライフストーリーワークは以下の流れで学び、実践に活かしていただくことを目的としています



<講師紹介>

・才村 眞理(元帝塚山大学教授):大阪府児童相談所(児童福祉司)、知的障害児入所施設(主査)、帝塚山大学心理福祉 学部(教授)の勤務経験。ライフストーリーワーク相談室代表。ドナーリンク・ジャパン社員。社会福祉士。

・徳永 祥子(セラピューティックライフストーリーワーク・ジャパン代表):大阪市阿武山学園、国立武蔵野学院にて児童自立支援専門員として勤務後、日本財団研究員、ウェスタンシドニー大学リサーチフェローを経て現職、福祉社会学博士。

【スケジュール】 パートⅠ 施設事例ケース	
9月3日(木)	
9:15～	受付開始
9:30-10:10	基礎講座の感想と今回のセミナーに期待すること
10:10-11:10	①事例:生活年表を書くワーク
11:10-11:20	休憩
11:20-12:10	②事例:誕生から入所のものがたりを考える
12:10-13:10	ランチ休憩
13:10-14:10	③事例「僕はなんで家に帰れないの？」にどう応えるか？
14:10-15:10	④10回のセッション内容を考える
15:10-16:10	10回のセッションの発表
16:10-16:30	質疑応答
終了	

※上記は予定です。内容は変更の可能性があることを予めご了承ください。